

発言No. / /

受付No. 5

令和7年 6月 11日
9時 9分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 8 番 氏名 川 上 幾 雄

答弁を求める者 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 地域井戸端会で指摘された課題について

(1) 地域交通について

- ① 生活路線バスの利便性(便数・乗降場等)改善に向けての取組について問う。
- ② 空席のあるスクールバスの活用への取組について問う

(2) 起業者への対応について

- ① 起業者への有効な施策(立ち上げ経費等に係る支援策)への取組について問う。
- ② 伴走支援策の現状を問う。

(3) 防災について

- ① 防災無線屋外子局の機能向上の取組について問う。
- ② 内水氾濫箇所の調査及び対策について問う。

2 行財政改革について

(1) 行財政改革実施計画について

- ① 定員適正化計画の管理状況を問う。
- ② 浜田市教育文化振興事業団のあり方の現状を問う。
- ③ 市有財産利活用の現状を問う。
- ④ ロードマップ管理との関係について問う。

(2) 実施された施策について

- ① 「シングルペアレント介護人材育成事業」の行財政への効果を問う。
- ② 「移動期日前投票所(車)の導入」の行財政への効果を問う。

(3) 行財政改革の今後について

- ① これから現れると予想される行財政改革の効果を問う。

発言No.

12

受付No.

17

令和 7 年 6 月 12 日
10 時 31 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 9 番

氏名 柳 楽 真智子

答弁を求める者

(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 子育て支援について

(1) リトルベビーと保護者への支援について

- ①2,500グラム未満で生まれた低出生体重児(リトルベビー)の記録ができるよう、島根県がリトルベビーに対応した母子手帳(リトルベビーハンドブック)を作成されたと聞いているが、活用できる対象について伺う。
- ②リトルベビーハンドブックの活用状況を伺う。
- ③リトルベビーなど、出生してからすぐに退院できない子どものために、母親が搾乳した母乳を届けている。様々な施設内に授乳室が設けられているが、「授乳室」という表記があることで、子どもを連れずに搾乳のために入ることに抵抗を感じるお母さんは多いと聞いている。授乳室に「搾乳できます」の表記があることで使いやすくなると考えるが、「搾乳マーク」の掲示について現状を伺う。
- ④産後の職場復帰に際しては、職場での搾乳も想定される。事業者や職場の人たちの理解が必要であり、安心して働き続けるための環境整備が求められる。市として事業者への働きかけについてご所見を伺う。
- ⑤商業施設等でも搾乳を行うことがある。搾乳が必要な親子がいることの理解を進めることも重要と考えるが、今後の周知の考え方を伺う。

2. 地域共生社会の構築について

(1) コミュニティソーシャルワーカーについて

- ①浜田市にコミュニティソーシャルワーカーは配置されているか伺う。
- ②コミュニティソーシャルワーカー配置のメリットについて、ご所見を伺う。

(2) 孤独・孤立対策について

- ①孤独・孤立を防ぐ取組の現状を伺う。
- ②孤独・孤立対策には、すべての人に居場所と役割があることが大切で、これからは支援から社会参加に繋げる様々な仕掛けが必要と考えるが、ご所見を伺う。
- ③8050問題が不登校とつながっているとの指摘がある。8050問題の対応状況を伺う。
- ④学校と福祉が連携することで、子どもを取り巻く多様な課題への対応が進むと考えるが、ご所見を伺う。

3. 防災・減災について

- ①令和7年3月定例会議において、防災・減災に女性や子どもの視点をと訴えさせていただいた。乳幼児を育てる家庭が安心して避難できるよう、赤ちゃん用段ボールベッドの備蓄をしている自治体があるが、浜田市でも取り入れる考えはないか伺う。
- ②浜田市の防災士資格取得者で「防災士連絡会」を立ち上げておられる。毎月の定例会や防災出前講座の支援などにも取り組まれ、積極的に活動されている。防災士研修センターからフォローアップのための講座の案内などもあるが、自己負担が3万円近くかかることから受講しにくいと考える。市として防災士のフォローアップ研修会を実施する考えはないか伺う。

発言No. 13

受付No. 8

令和 7 年 6 月 12 日
9 時 1 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 12 番 氏名 上野 茂

答弁を求める者 (○をつける) 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 旭中学校防音対策事業について

(1) 国の補助事業を断念し浜田市の単独事業とすることについて

- ① 学校への影響と支援の認識について伺う。
- ② 5市町村での対応が分かれ、学校の防音対策が盛り込まれなかった理由を伺う。
- ③ 騒音測定が行われたが、基地周辺と比べてどのような差があるのか伺う。
- ④ 古い校舎、窓二重サッシ化による効果、事業費などを考え、場所の移転や建替えを優先する考えはないのか伺う。
- ⑤ 突然の爆音で近くの施設では泣き出す子もいると聞いている。いつまで続くのか、このような状況に対する市長の考えを伺う。

2 島根あさひ社会復帰促進センターの共同運営の今後について

(1) 地域団体や人材など新たな連携について

- ① 地域の活性化に向け、来年からの新たな事業者との取組の考えを伺う。
- ② 開所から17年経つが、定住の現状を伺う。

3 危険木、支障木について

(1) 地域井戸端会で多く出た要望等について

- ① 自治会等からの要望も出ていると思うが、危険木、支障木の対応の現状を伺う。
- ② 県道にある今にも折れそうな枯れ木について、写真で現場の説明を2度行ったが処理されていない。市と県との連携について伺う。

発言No. 14

受付No. 2

令和7年6月10日

8時58分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 18番

氏名 佐々木 豊治

答弁を求める者 ☐市長 ☒教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1、 地域井戸端会で出された意見・要望について

(1) 小規模農家への補助拡充について

①小規模農家への水稻機械代の補助が今年度から始まったが、各会場で紹介すると、ぜひ拡充してほしいとの強い意見が出されたが、所見を伺う。

(2) 美又温泉施設のリニューアルに伴うキャッチコピーについて

①美又温泉施設のリニューアルに伴い、誘客のため新たなキャッチコピーが必要ではないかとの意見が出されたが所見を伺う。

(3) 地域交流プラザまんでんの活用について

①空き店舗となっている「地域交流プラザまんでん」について、現在の活用状況について伺う。

②イベントなど、地元の意見を反映して活用できるようにしてほしいとの意見があるが、所見を伺う。

③となりには神楽が上演できる野外ステージがあるが、活用状況を伺う。

④広島と近い位置にあるため、夜神楽の定期公演などが考えられないか伺う。

2、 いじめ防止と対策の取組について

- ① 浜田市でのいじめの現状について伺う。
- ② いじめ防止や対策の現状について伺う。
- ③ 大阪府寝屋川市での「いじめゼロに向けた取組」を視察した。

令和元年に市長部局の危機管理部に「監察課」を設置し、独自の早期いじめ対策に取り組んでいる。

また、いじめを法的問題としてもとらえ、責任の追及や損害の回復にも取り組まれ、被害者を支援する補助金事業にも取り組まれている。

「子どもたちをいじめから守るための条例」を整備し、特徴として保護者や地域住民に対し、いじめに関する情報提供を行う責務や、市長の権限を明示し、いじめの申し出があったときの調査、学校などに対する出席停止などの措置を勧告できることなどが定められている。

ほかに、毎月1回、全児童・生徒にいじめ通報促進チラシを配布し、いじめの早期発見と抑止効果に取り組んでいる。

同様の取組が他の自治体へも広がっているようで、浜田市での取組を検討すべきと思うが所見を伺う。

3、 コミュニティスクールの取組について

- ① コミュニティスクールの取組の現状を伺う。
- ② どのような成果を目指していくのか伺う。
- ③ 視察した滋賀県竜王町では、コミュニティスクールと公民館を核とした地域学校共同活動の一体的推進に取り組まれており、参考になる事例と思うが所見を伺う。

発言No. 15

受付 NO. /
令和 7 年 6 月 6 日
3 時 36 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 15 番 氏名 岡 本 正 友

答弁を求める者
(口をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員長

発言項目及び要旨

1 今後の久保田市政の運営について

①先の3月定例会議において4期目の市政運営について言及を差し控えられたが、任期が余すところ4カ月になる。4期目の市政運営への考えを問う。

2 現場とつながる政策対応の必要性について

本年10月に市議会議員の任期満了に伴う選挙が予定されている。

節目にあたり、改めてこれまでの市民の皆さんからいただいたご意見やご要望を受け止め、市政に届けることが私の責務と考える。とりわけ5月15日からの5か所において参加した「地域井戸端会」では、地域に根差した具体的な声を多数いただいた。加えて日々の議員活動の中でも現場からの相談が寄せられている。

本定例会議では、そうした市民の声に真正面から向き合い、7項目にわたって現状の課題を示すとともに、今後の対応や改善策について問う。

(1) 三隅地区4漁港の水産業の活性化について

後継者不足や水揚げ量の減少などにより閑散する漁港を憂う地区住民から、漁業者の移住定住施策を求める意見をいただいている。

- ① 市としての水産業振興計画の現状と今後の戦略を問う。
- ② 漁港間の連携の現状について問う。
- ③ 加工業・流通分野への支援策を問う。
- ④ 漁業者への移住定住支援についての考えを問う。

(2) 特定外来種「オオキンケイギク」の除去対策について

旭町和田まちづくりセンターでの「地域井戸端会」で県道沿いや空き地に繁殖する外来機種「オオキンケイギク」によって、在来種を駆逐する恐れがあることから、環境省でも駆除を推奨している状況があり、その対応を求められた。

- ① 市内の道路添いや河川敷等における「オオキンケイギク」の繁殖状況を問う。
- ② 市民からの通報や苦情の件数を問う。
- ③ 今後の駆除対策への考えを問う。

(3)ダム施設の観光資源化について

石見まちづくりセンターでの「地域井戸端会」において、浜田・三隅・周布など市内にダムは複数あるが観光活用は限定的であり、その対応について要望を受けた。

- ① これまでに浜田市議会において提案されてきた記憶がある。検討状況を問う。
- ② 「ダムカード」や「ダム周辺散策」など活用した観光施策の検討余地はあるかを問う。

(4)浜田城址の眺望確保のための樹木伐採について

石見まちづくりセンターでの「地域井戸端会」において、浜田城址が眺望スポットとして期待されるが、巨木化した樹木が妨げとなっているとの声があった。県の管理下にあると聞くが以下、その対応について伺う。

- ① これまで、安来市の「月山富田城址」の観光スポットとして樹木の伐採の整備状況について報道されている。その認識について問う。
- ② 眺望確保の観点から定期的な伐採や整備計画を策定する考えを問う。

(5)漁業者の廃業に伴う廃船の処理・放置船対策について

地域住民より、港に廃船が放置されることにより、景観や安全上の課題をあげてその対策を求められている。

- ① 市内の漁港における廃船の数や状態を問う。
- ② 廃船が放置される事による環境や景観への影響を問う。
- ③ 対策についての考えを問う。

(6)漁港整備に伴う公園施設の復旧について

これまでに浜田漁港整備から、その周辺に公園やトイレが整備されている。公園内に設置されていた東屋や時計台など経年の台風や劣化より撤去されたままの状況から、市民より復旧を求める要望が寄せられた。

- ① 破損した公園施設(東屋、時計台など)について認識を問う。
- ② 破損後の対応状況と未復旧の理由を問う。
- ③ 復旧への対策について問う。

(7)劣化した観光看板の修繕について

田町の鏡山入口に設置された観光看板が、色あせや文字の消失により、観光案内機能を果たしていない状況に市民から改修を求める要望を聞いている。

- ① 全市の観光看板の把握状況を問う。
- ② 看板の点検の実施と修繕計画を問う。